PREMIUM WATER HOLDINGS

# 2027年３月期第２四半期 決算説明補足資料

株式会社プレミアムウォーターホールディングス

東証スタンダード：2588

2026年11月10日（火）

PREMIUM WATER HOLDINGS

# 目次


- **当社が目指すもの・競争優位性・今後の展開**
- **2027年３月期 第２四半期　業績**
- **Appendix**
  - （１）会社概要・事業内容
  - （２）SDGsへの取組み


Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

# 当社が目指すもの
# 競争優位性
# 今後の展開

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

## ウォーターサーバー需要の高まり




社会的背景
（外的要因）

### 水資源を未来へつなぎ、日本の天然水の価値を高める

**PWHD（プレミアムウォーターホールディングス）は**

- 宅配水 業界シェア**No.1**（※1）
- PWHD誕生以来 ユーザー数**連続更新**
- 宅配水業界 最多の**８水源**
- 安心・安全に注力した **浄水型**の展開

PREMIUM WATER HOLDINGS

| 圧倒的な営業力 | 工場の最新化 | 配送効率の最適化 |
|---|---|---|
| 安心・安全な天然水を安価で提供するための基盤作り | 製造原価を抑えながらプラスチック量の少ない容器でおいしい水を全国へ | 配送効率の最適化を図るための自社物流（※2）網を維持することにより物流コストの抑制を実現 |

※1　日本宅配水＆サーバー協会（JDSA)2025年度宅配水業界統計より算出
※2　当社の配送管理システムに参加している配送パートナー

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

# 天然水という差別化が難しい商品で、**市場シェアNo.1**。競争優位を構築・維持する３つのポイント。

## 1 業界No.1の顧客獲得力

圧倒的な営業力がある直販のノウハウを代販へ伝えることで、
**さらに強固な販売網**を構築。

## 2 業界No.1の８水源（うち自社工場３ヶ所）

月間 **約500万本**（約250万顧客相当）の生産能力を誇り、
岐阜北方工場の竣工により、生産能力・生産効率が向上。

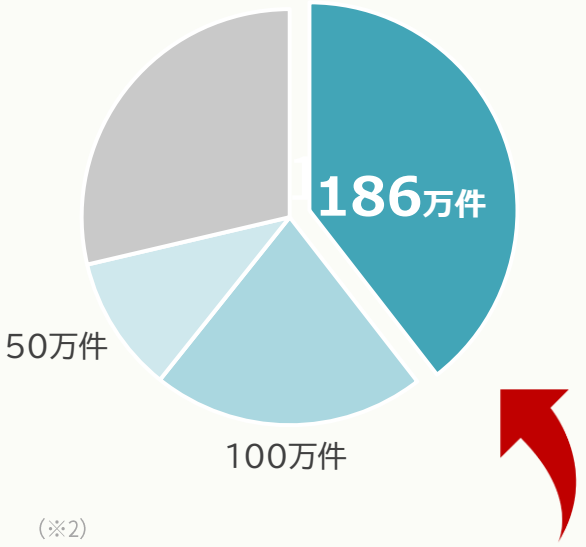
## 3 自社物流網の構築で効率的な配送

大手物流会社に左右されない自社物流網を構築したことにより、
自社物流比率が**51.9%**まで上昇。**大幅なコスト削減**を実現。

## ウォーターサーバー市場

**顧客数 No.1**

**業界シェア 32.0%**(※1)




※1 JDSA2025年度宅配水業界統計より算出
※2 日本流通産業新聞2026年1月8日号より当社作成

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

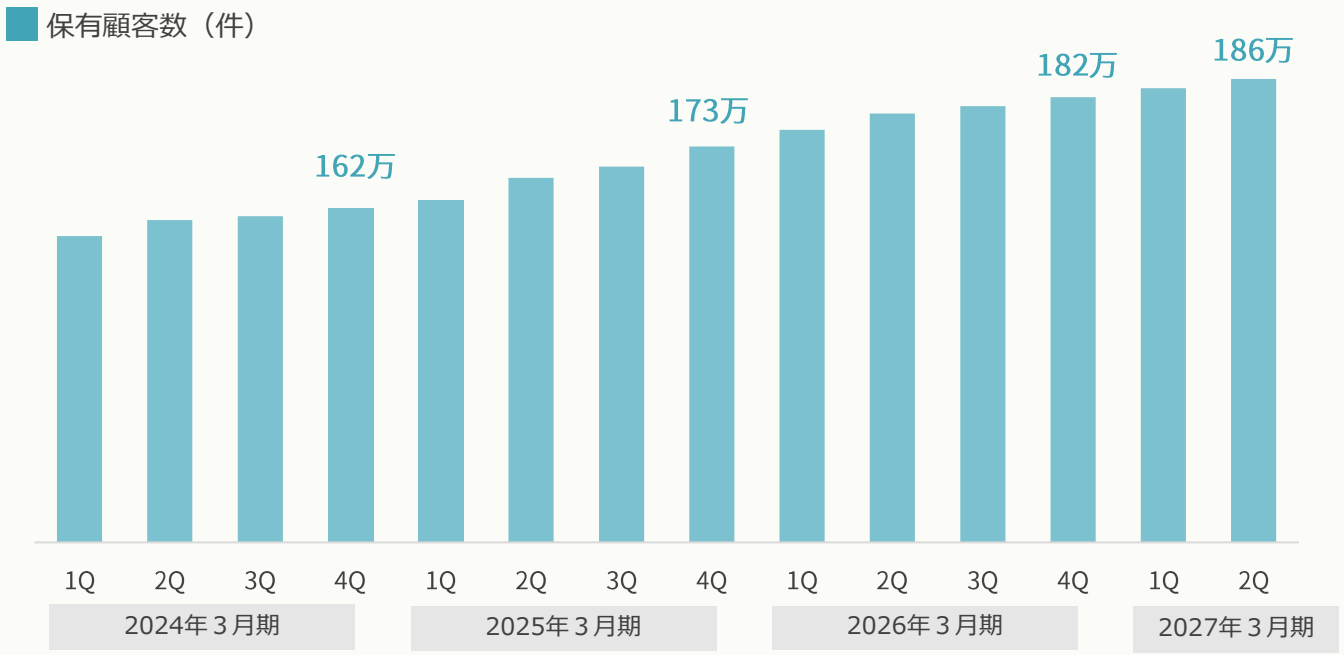
# 中期成長イメージ

業界シェアNo.1の顧客基盤の拡大に注力。

STEP❶ 顧客拡大 生産増強

STEP❷ グループストラクチャ再編 利益効率の向上

STEP❸ さらなる顧客基盤拡大




**顧客獲得数** **契約維持率**

**最大化**

水関連事業

| 天然水 | 浄水型 | その他 |
|---|---|---|

**顧客基盤拡大３つの施策**

❶ **直販の生産性の強化**

❷ メーカー特化型戦略による**顧客満足度の向上**

❸ **M&A・出資・業務提携**による営業力の強化

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

# 今後のPWHDグループ

効率的な製造・配送体制を構築しつつ、営業力強化への投資にも注力していく方針。

持株会社

PREMIUM WATER HOLDINGS

企画・管理
子会社

製造子会社

営業子会社

提携・出資等

持分法適用会社

宅配水販売

LASTONEMILE　議決権（※）35.4%

INEST　議決権（※）38.9%

ビール販売

DREAMBEER SINCE 2020　議決権（※）15.1%

取次店

※2026年９月末時点

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

# 2027年３月期 第２四半期　業績

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

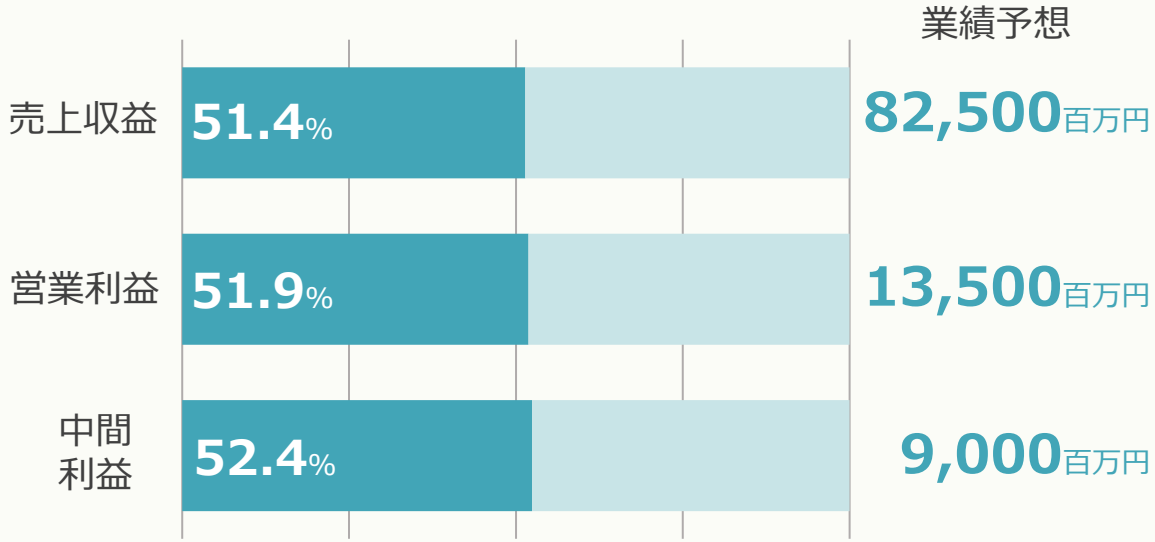
# 業績ハイライト

**保有顧客の増加に伴いストック利益が積み上がり、増収増益。**
**上期の営業利益は通期業績予想に対し51.9%の進捗と、計画どおりに推移。**

## ●第２四半期累計期間（４～９月）

| | | 前年同期比 |
|---|---|---|
| 売上収益 | 42,392 百万円 | 105.1% |
| 営業利益 | 7,002 百万円 | 103.9% |
| 親会社の所有者に帰属する中間利益 | 4,715 百万円 | 119.8% |
| EBITDA | 13,896 百万円 | 106.9% |

## ●通期業績予想に対する進捗率




●親会社の所有者に帰属する中間利益は
前年同期比119.8%
持分法適用関連会社の利益が寄与

持分法適用関連会社の持分法による投資損益の増加が主な押し上げ要因となり、親会社の所有者に帰属する中間利益は前年同期比119.8%となりました。

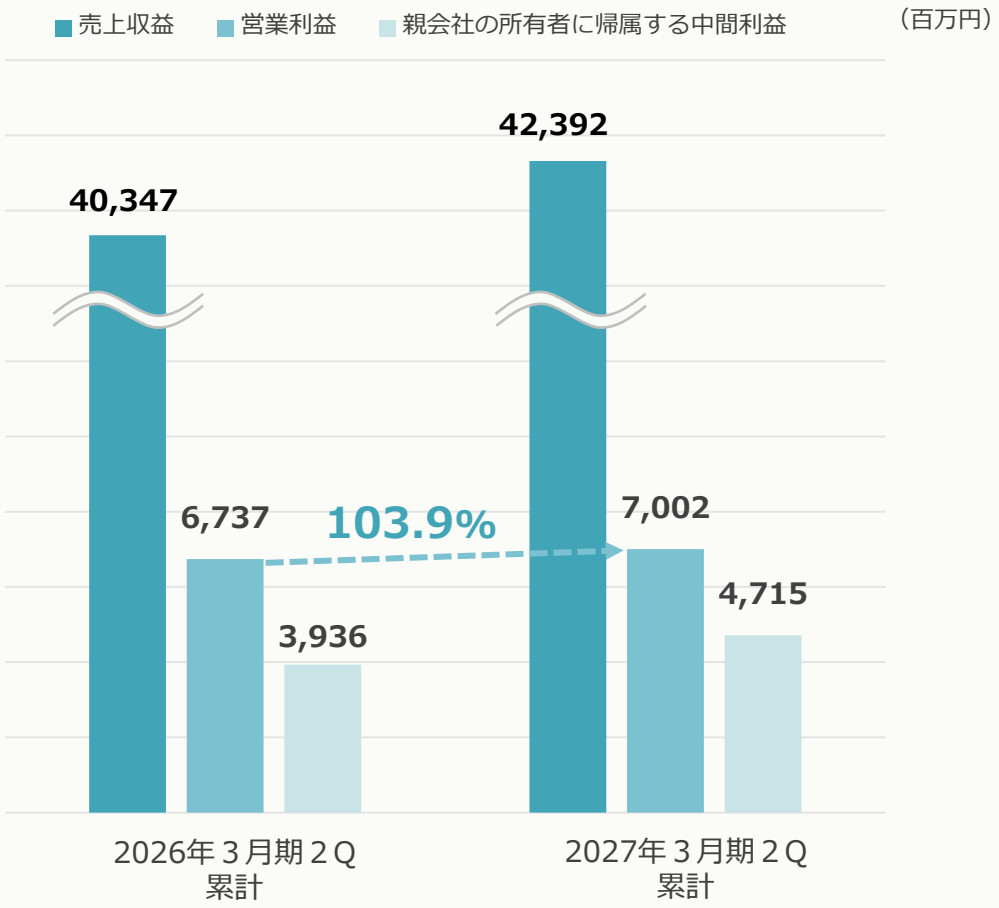
Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

## 堅調な保有顧客数の増加により、売上収益は前年同期比105.1%と増収。
## 営業利益は前年同期比103.9%と増益。

（百万円）

| | 2026年３月期 第２四半期 累計期間 | 2027年３月期 第２四半期 累計期間 | 前年同期比 |
|---|---|---|---|
| 売上収益 | 40,347 | 42,392 | 105.1% |
| 売上総利益 | 34,640 | 35,675 | 103.0% |
| 営業利益 | 6,737 | 7,002 | 103.9% |
| 親会社の所有者に帰属する中間利益 | 3,936 | 4,715 | 119.8% |
| EBITDA（営業利益＋減価償却費） | 12,994 | 13,896 | 106.9% |




Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

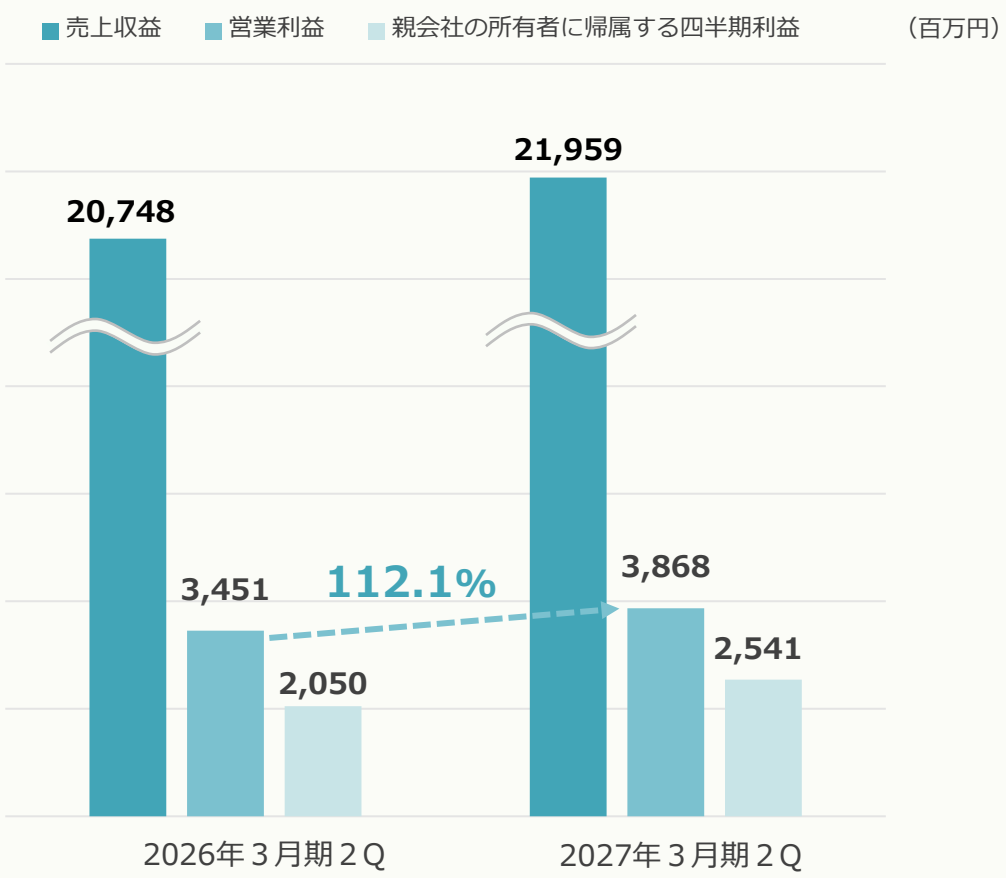
PREMIUM WATER HOLDINGS

## 営業利益は前年同期比112.1%。

## 中東情勢による資材等の高騰の影響を受けるも、前年と比べて増益を達成。

（百万円）

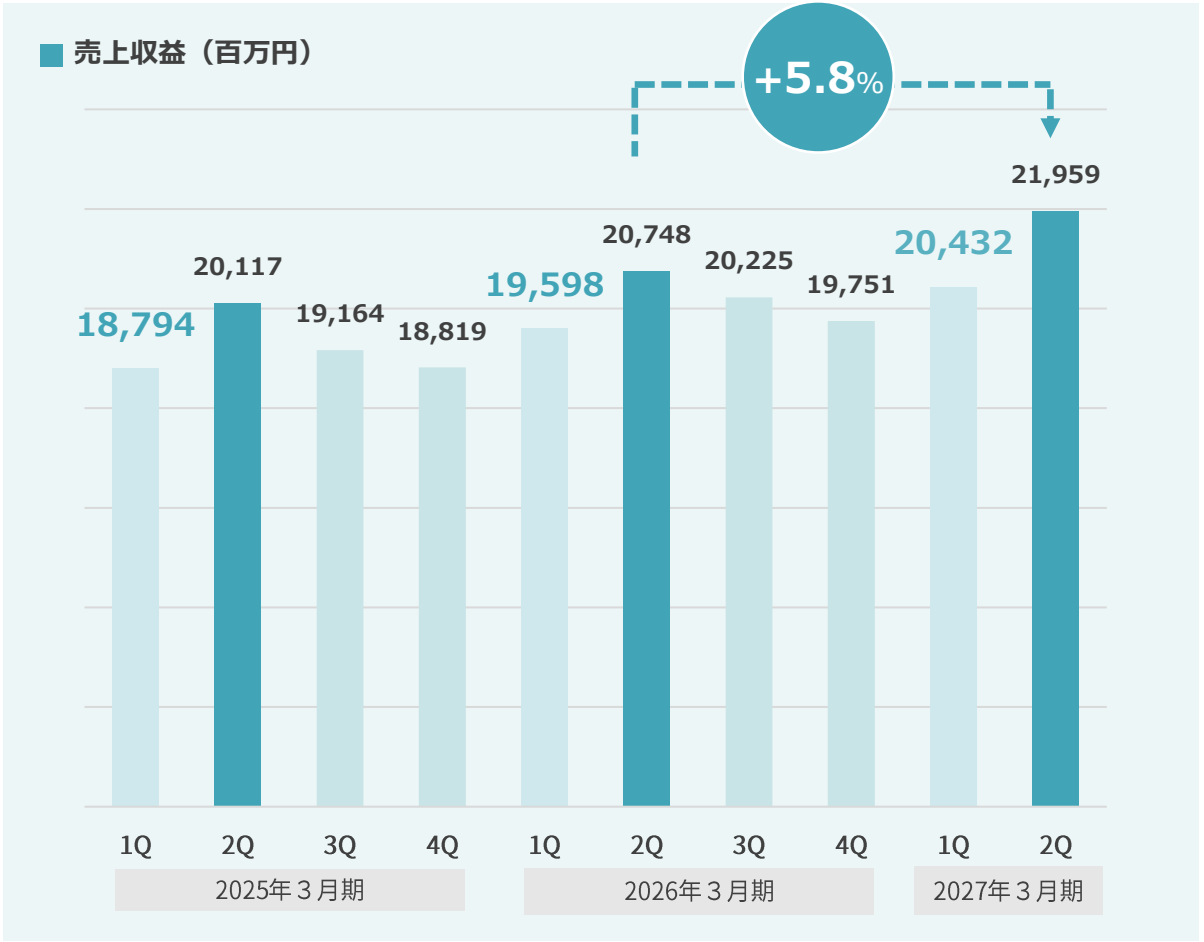
| | 2026年３月期 第２四半期 会計期間 | 2027年３月期 第２四半期 会計期間 | 前年同期比 |
|---|---|---|---|
| 売上収益 | 20,748 | 21,959 | 105.8% |
| 売上総利益 | 17,747 | 18,226 | 102.7% |
| 営業利益 | 3,451 | 3,868 | 112.1% |
| 親会社の所有者に帰属する四半期利益 | 2,050 | 2,541 | 123.9% |
| EBITDA（営業利益＋減価償却費） | 6,609 | 7,288 | 110.3% |

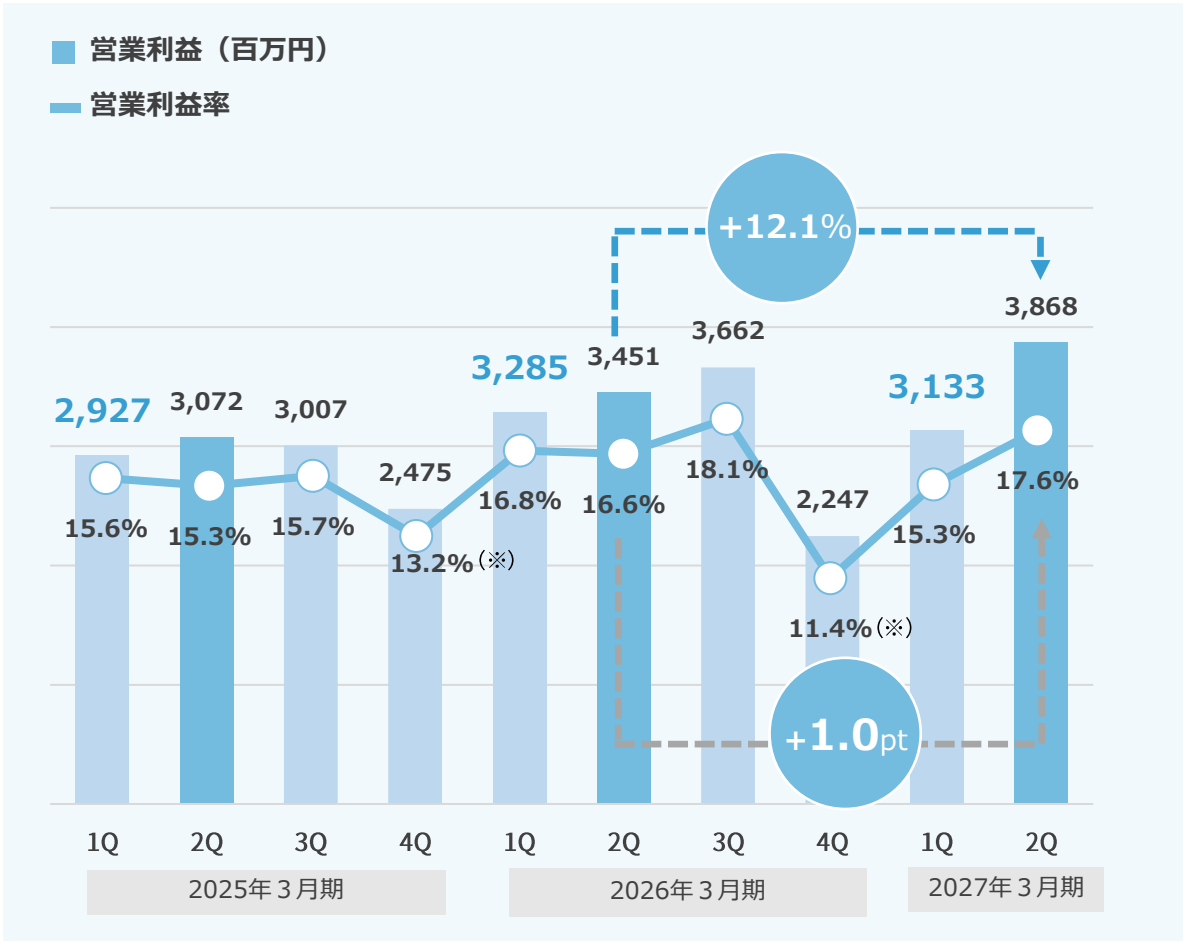



Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

# 売上収益・営業利益の推移

**保有顧客数の増加により、売上収益は前年同期比5.8%増加。営業利益は前年同期比12.1%増加し、営業利益率は1.0pt改善。**




※毎期４Qは取次店等に対する手数料の支払いにより、１～３Qと比べると営業利益・営業利益率ともに減少

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

## 業務提携

### JALとの業務提携
### 獲得チャネルの多様化と継続率向上を推進

2026年７月より、**JALマイレージバンク会員様向け**に、ご利用内容に応じて**JALのマイルやポイントが貯まる専用プラン**の提供を開始いたしました。高いロイヤリティを持つJAL会員層へのアプローチを通じた新規顧客獲得チャネルの多様化、マイル連携による顧客基盤の更なる定着化を図ってまいります。

非加熱だから、おいしい
PREMIUM WATER
High Quality Water Delivery Service

JAPAN AIRLINES




## 天然水

### ブランド初
### 7.2Lボトル専用卓上サーバー「pitap（ピタップ）」提供開始

従来の12.5Lボトルから**小型・軽量化した7.2L専用ボトル」を採用**。省スペース設置と保管の容易さを実現し、ボトルの交換負荷を軽減。一人暮らし世帯や在宅時間の短いライトユーザー、女性・シニア層の新規獲得を図り、長期継続につながる顧客ターゲットの拡大を狙います。




## 浄水型

### 業界最安級(※)
### 高機能浄水型卓上サーバー「litta2（リッタツー）」提供開始

サーバー代・送料・年1回の交換カートリッジ代込み「業界最安級の月額2,580円（税込）」の定額使い放題を維持。物価高における生活防衛・節約ニーズに訴求します。有機フッ素化合物（PFAS/PFOS・PFOA）や重金属、ウイルス等、**業界トップクラスとなる「53種類の不純物」を除去可能**な高性能カートリッジを採用し、商品力を大幅強化しました。




※当社を含む浄水型ウォーターサーバーを取扱う6社のうち水道水を注いで使用する方式のウォーターサーバーで比較。（2026年10月時点）

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

# プレミアムウォーターの成長ドライバー

**新規顧客獲得に加え、既存顧客の継続率を向上させることにより保有顧客数を積み上げる。**

また、保有顧客数の増加に伴い、既存顧客に対する継続率向上のための施策が、今後さらに重要となる。

**天然水(宅配水)** ＋ **浄水型**





**主力の天然水ウォーターサーバーに加えて、浄水型も成長ドライバーに**

**新規獲得**

＜新規獲得増加＞
・直販の強化
・提携販路との資本関係強化
・M＆Aの実施

**継続率**

＜継続率向上＞
・契約の長期化
・新製品の開発強化
・顧客満足度の向上

**保有顧客数増加**

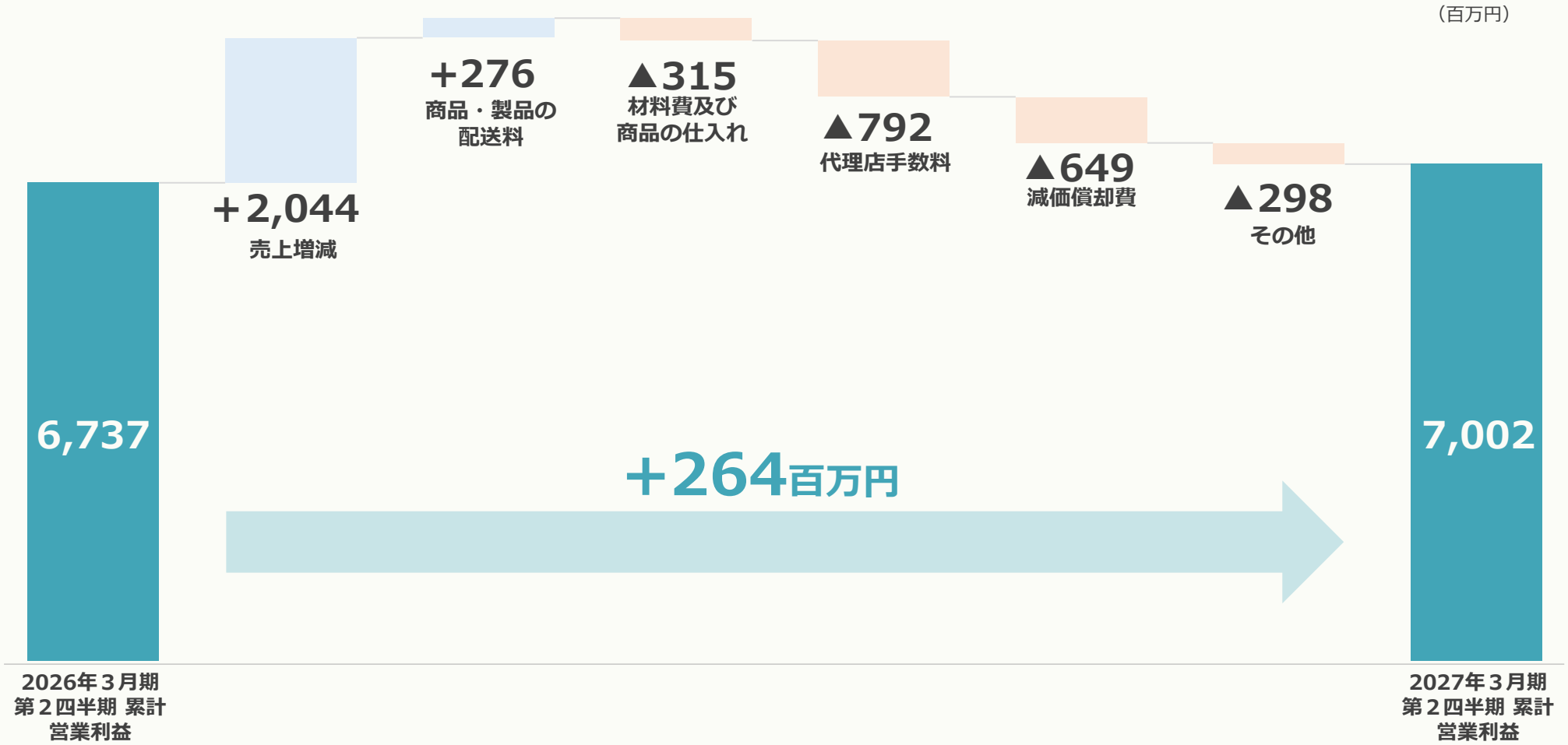
↓

**売上増加**

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

# 営業利益の増減要因

**保有顧客数の増加に伴う売上の伸長により、代理店手数料・減価償却費の増加や資材高騰の影響を吸収し、営業利益は前年同期比264百万円の増益。**

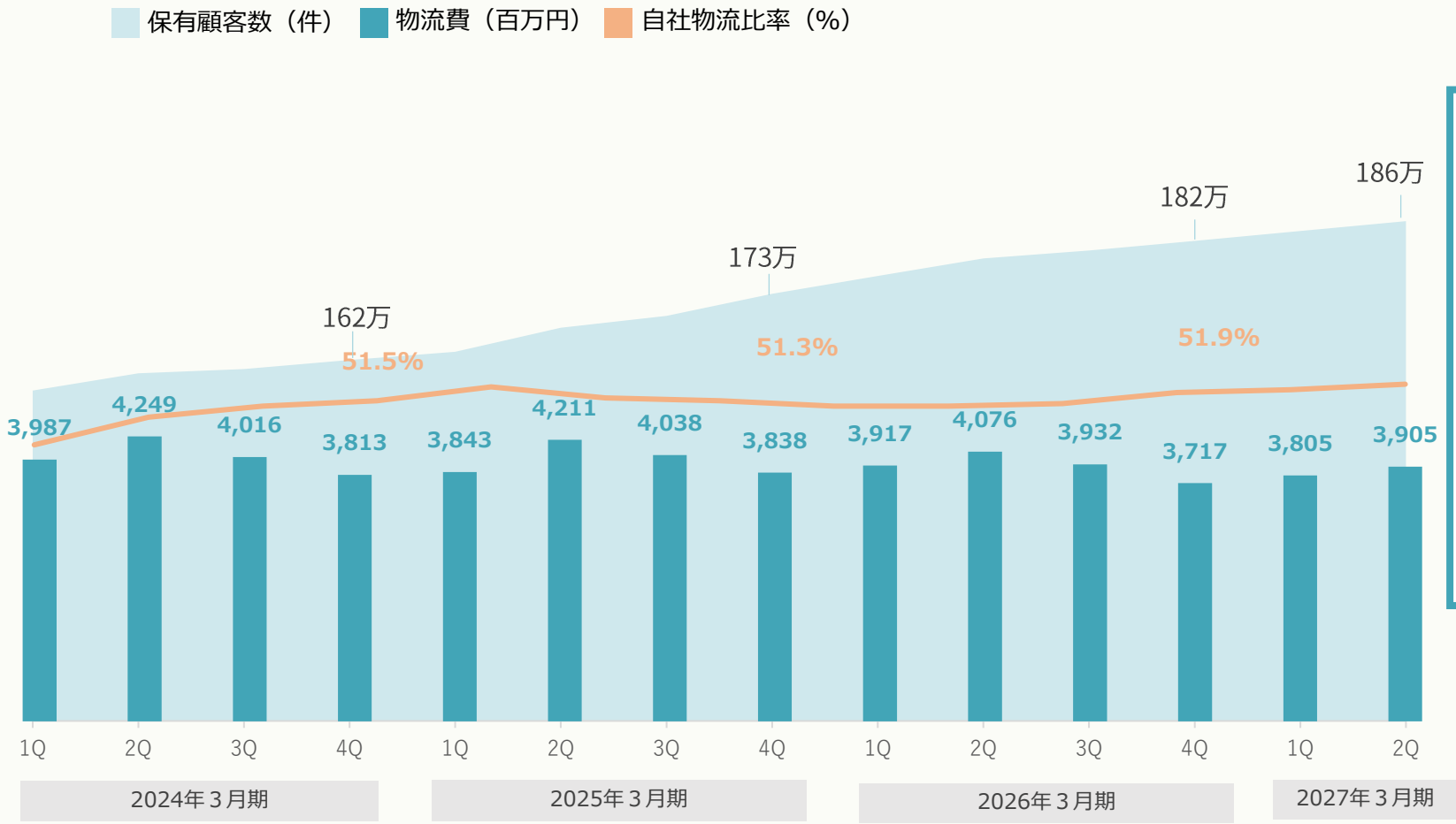



Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

# 物流コスト削減への取組み

顧客基盤の拡大による物流量の増加や物価上昇の影響を受けているが、

**自社物流(※)比率を適正に維持することで、物流コスト全体の増加を抑制。**




## 自社物流(※)比率

2019年3月期 **18.7%**

▼

2026年3月期 **51.9%**

※当社の配送管理システムに参加している配送パートナー

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

（百万円）

| | 2026年３月期<br>第２四半期 累計期間 | 2027年３月期<br>第２四半期 累計期間 | 増減 | 前年同期比 |
|---|---|---|---|---|
| 営業利益 | 6,737 | 7,002 | 264 | 103.9% |
| 金融収益+金融費用 | ▲384 | ▲435 | ▲50 | – |
| 持分法による投資損益 | ▲293 | 380 | 673 | – |
| 税引前中間利益 | 6,059 | 6,947 | 887 | 114.7% |
| 法人所得税費用 | ▲2,123 | ▲2,231 | ▲108 | – |
| 非支配持分 | 0 | ▲0 | ▲0 | – |
| 親会社の所有者に帰属する<br>中間利益 | 3,936 | 4,715 | 779 | 119.8% |

※営業外損益の科目については、損益にプラスの場合はプラス表記、マイナスの場合はマイナス表記をしております。

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

# ウォーターサーバー等の投資に係る資金調達に伴い、リース債務等の有利子負債が増加。

（百万円）

| | 2026年３月期 | 2027年３月期 第２四半期 | 増減 |
|---|---|---|---|
| 流動資産 | 55,161 | 56,233 | 1,071 |
| 現金及び現金同等物 | 40,484 | 34,617 | ▲5,866 |
| 営業債権及びその他の債権 | 12,384 | 13,587 | 1,203 |
| 棚卸資産 | 577 | 760 | 182 |
| その他 | 1,715 | 7,267 | 5,552 |
| 非流動資産 | 80,103 | 80,865 | 761 |
| 有形固定資産 | 35,343 | 33,725 | ▲1,618 |
| 無形資産 | 3,598 | 3,774 | 175 |
| 持分法で会計処理されている投資 | 5,323 | 13,944 | 8,621 |
| その他の金融資産 | 19,973 | 12,905 | ▲7,068 |
| 契約コスト | 14,735 | 15,222 | 486 |
| その他 | 1,128 | 1,293 | 164 |
| 総資産 | 135,265 | 137,098 | 1,833 |

（百万円）

| | 2026年３月期 | 2027年３月期 第２四半期 | 増減 |
|---|---|---|---|
| 負債 | 103,188 | 102,107 | ▲1,080 |
| 流動負債 | 49,907 | 45,652 | ▲4,255 |
| 営業債務及びその他の債務 | 17,410 | 17,360 | ▲49 |
| 有利子負債 | 25,410 | 24,527 | ▲882 |
| 未払法人所得税 | 2,420 | 2,598 | 178 |
| その他 | 4,666 | 1,165 | ▲3,501 |
| 非流動負債 | 53,281 | 56,455 | 3,174 |
| 有利子負債 | 52,376 | 55,736 | 3,359 |
| その他 | 904 | 719 | ▲185 |
| 資本 | 32,076 | 34,990 | 2,914 |
| 株主資本 | 32,061 | 34,975 | 2,914 |
| その他 | 15 | 15 | 0 |
| 負債及び資本合計 | 135,265 | 137,098 | 1,833 |

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

# ２Ｑ業績概要　―連結キャッシュ・フロー計算書―

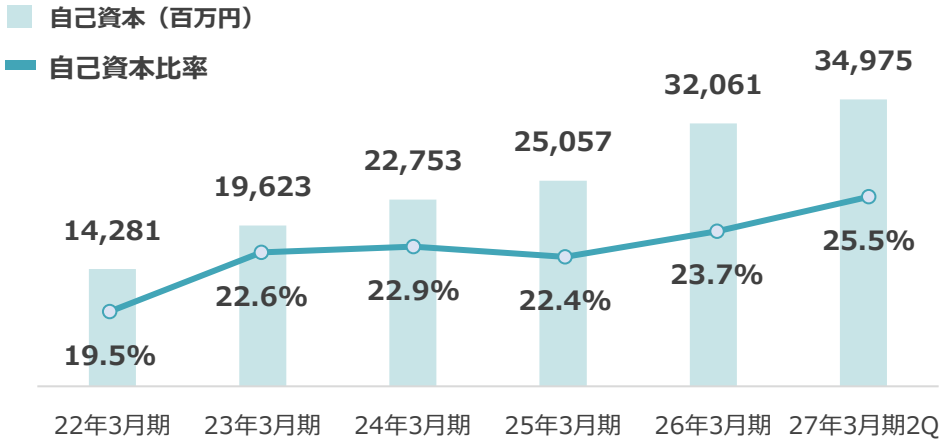
（百万円）

| | 2026年３月期<br>第２四半期 | 2027年３月期<br>第２四半期 |
|---|---|---|
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 31,900 | 40,484 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 11,086 | 9,581 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | ▲6,745 | ▲8,713 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | ▲1,845 | ▲6,703 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 8 | ▲31 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 34,404 | 34,617 |

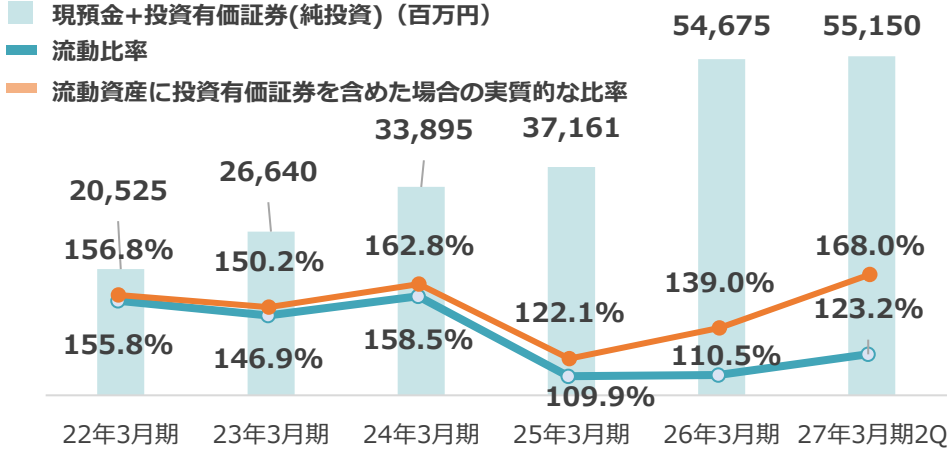
Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

# 自己資本比率は引き続き、20%を超えて推移。

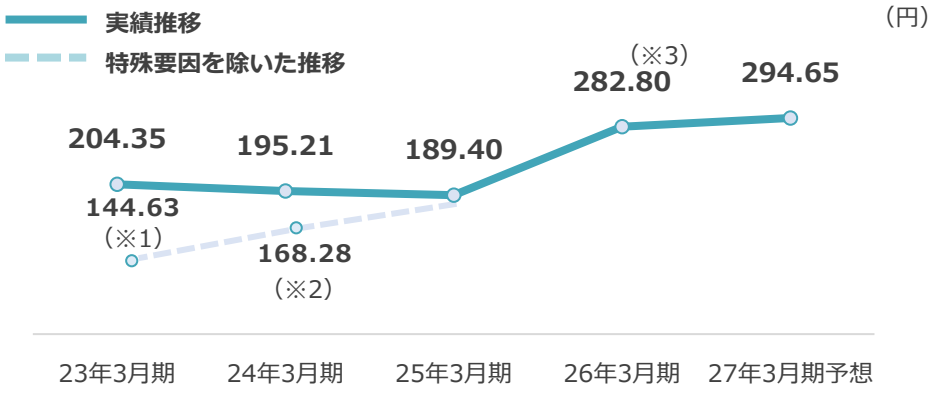
## 自己資本・自己資本比率




## 流動比率・現預金＋投資有価証券（純投資）（※4）




## 基本的１株当たり当期利益（EPS）




**ROE 26.9%（2027年３月末予想）**

**ROA 6.6%（2027年３月末予想）**

※1　2023年３月期において、当期利益は6,057百万円だったが、特殊要因として繰延税金資産の計上分1,753百万円を含んでいるため、その特殊要因を除いた当期利益は4,304百万円。

※2　2024年３月期において、当期利益は5,777百万円だったが、特殊要因として子会社譲渡の売却益797百万円を含んでいるため、その特殊要因を除いた当期利益は4,980百万円。

※３　EPSの計算に用いた2026年3月期期末発行済株式数には、B種種類株式9,046,070株を含む。

※４　2027年３月期第２四半期より国債（5,991百万円）を含め、計算方法を見直し。

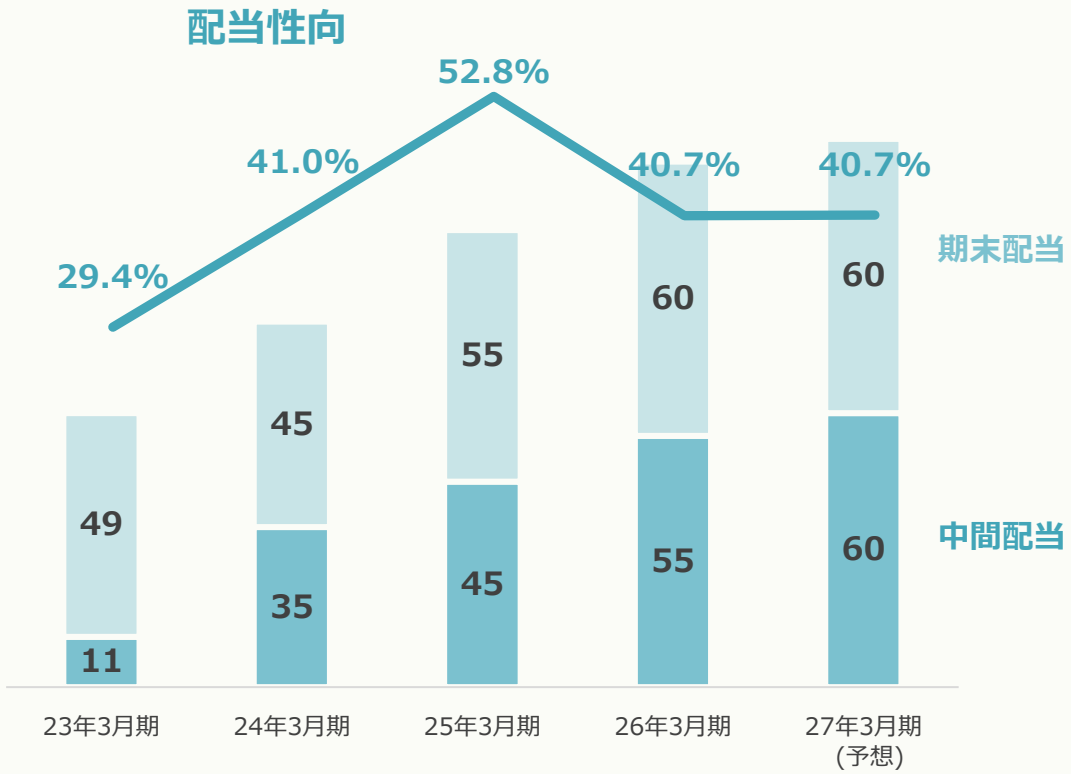
Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

# 今後も内部留保や設備投資への成長投資とのバランスを考慮しながら**安定的な増配を継続する方針。**

（円）

| | 2025年３月期 | 2026年３月期 | 2027年３月期 |
|---|---|---|---|
| 中　間　配　当<br>（基準日：9月末日） | 45.00 | 55.00 | 60.00 |
| 期　末　配　当<br>（基準日：3月末日） | 55.00 | 60.00 | 60.00<br>（予想） |
| 合　　計 | 100.00 | 115.00 | 120.00<br>（予想） |




Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

2026年３月期は、**当社株式を100株以上保有の株主様へ5,000円相当のカタログギフト**を贈呈。

また、**当社の天然水をご契約の株主様には、さらに天然水１セットを無料**でお届け。

**優待品①**

**5,000円相当のカタログギフト**



**カタログギフトの品数を20品に拡充！**

**優待品②**

**天然水１セット（２本）**

**宅配水サービスご契約者様限定**

ナチュラルミネラルウォーター
１セット(２本)プレゼント



Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

# Appendix

## （1）会社概要・事業内容

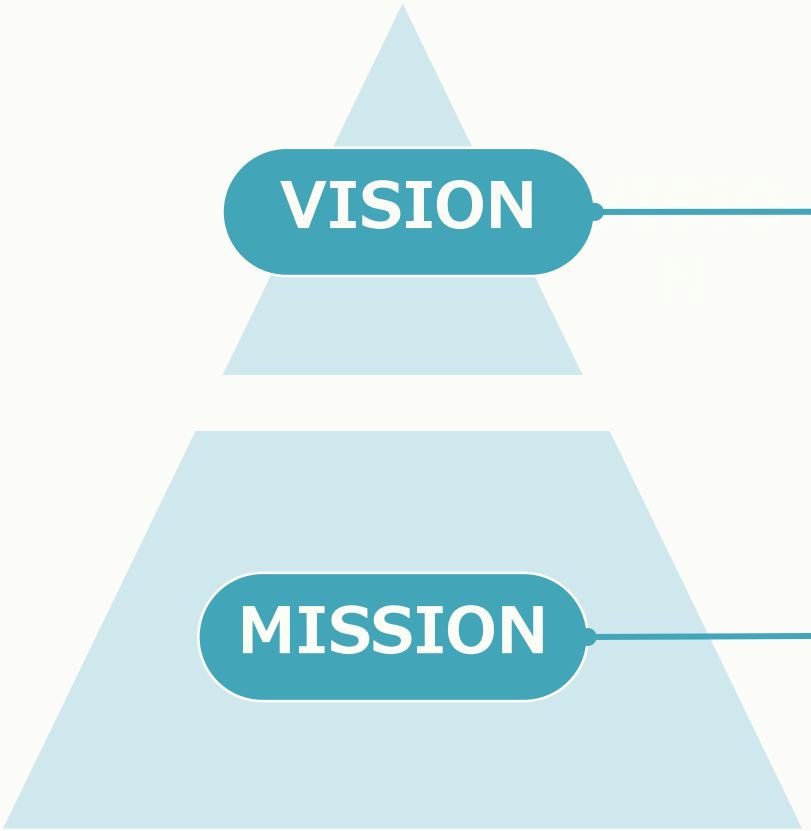
Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

# 会社概要

| | |
|---|---|
| 会社名 | 株式会社プレミアムウォーターホールディングス |
| 設立 | 2006年10月13日 |
| 所在地 | ＜東京本社＞<br>東京都港区虎ノ門4-3-13　ヒューリック神谷町ビル7階<br><br>＜本店＞<br>山梨県富士吉田市上吉田4597-1 |
| 代表者 | 代表取締役社長　金本 彰彦 |
| 従業員数 | 914名（連結）（役員、臨時従業員含まない）　※2026年３月31日現在 |
| 資本金 | 5,369百万円（連結）　※2026年９月30日現在 |
| 事業内容 | 自社ブランド「PREMIUM WATER」を中心とするミネラルウォーターの<br>ウォーターサーバー事業を行う子会社等の経営管理及びそれに付帯又は関連する業務 |
| 主要なグループ会社 | プレミアムウォーター株式会社<br>プレミアムウォータープロダクツ株式会社<br>株式会社Premium-Plus<br>株式会社PWリソース<br>株式会社ライフセレクト<br>株式会社プレミアムビジネスサポート<br>株式会社ウォーターオフグリッド<br>SINGAPORE FLC PTE.LTD |

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS




自社の活動を通じて人々の生活を豊かに

そして**世界で一番愛される会社へ**

**日本の天然水**と言う唯一無二の価値を日本人に

そして世界に伝える事で社会的意義を果たし、地方創生を実現する

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

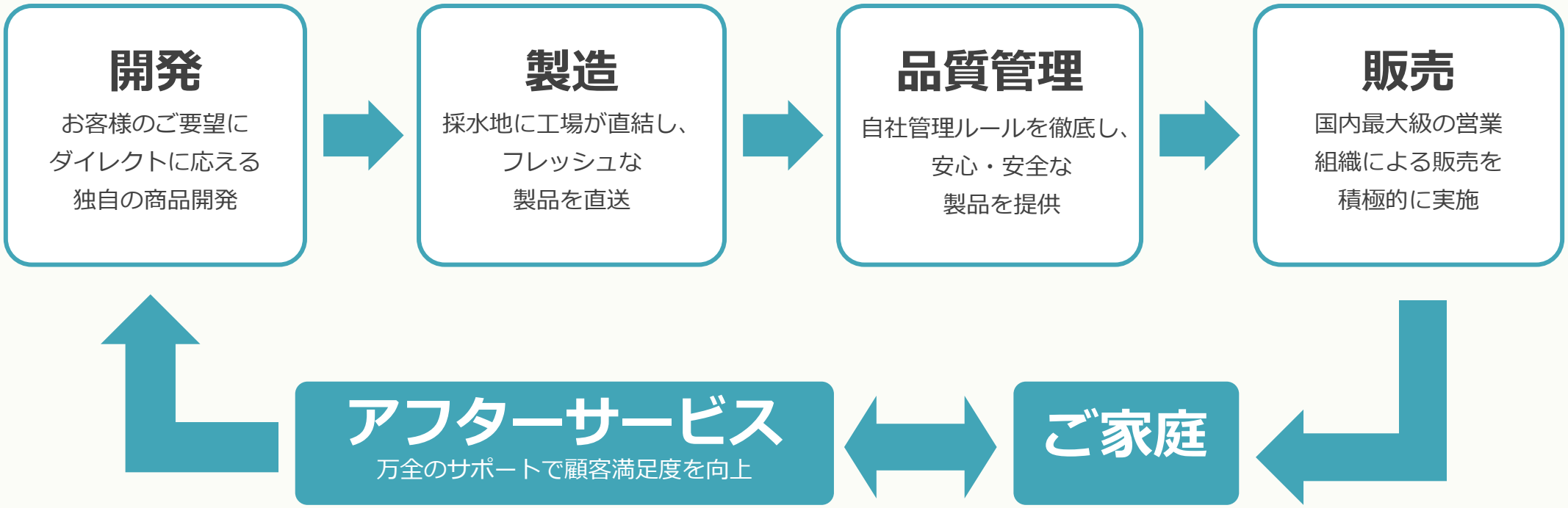
# 沿革

| 年号 | 株式会社ウォーターダイレクト | 株式会社エフエルシー |
|---|---|---|
| 2004年 | | 2月　(株)エフエルシー創業<br>セールスプロモーション事業スタート |
| 2006年 | 10月　(株)ウォーターダイレクト設立 | |
| 2007年 | 4月　第一工場稼働開始 | |
| 2008年 | | 1月　ウォーターサーバー代理店事業開始 |
| 2010年 | 7月　富士吉田工場 竣工 | 4月　プレミアムウォーター(株)設立 |
| 2011年 | | 3月　新設分割により(株)エフエルシー設立 |
| 2013年 | 3月　東京証券取引所マザーズ 上場 | |
| 2014年 | 4月　東京証券取引所 市場第二部へ市場変更 | |
| 2015年 | 2月　(株)光通信の子会社、(株)総合生活サービスによる<br>TOBにより子会社化 | |
| 2016年 | 7月　**株式会社プレミアムウォーターホールディングス設立** | |
| 2020年 | 3月　宅配水事業における保有契約件数が100万件を突破 | |
| 2022年 | 4月　東京証券取引所スタンダード 上場 | |
| 2024年 | 4月　岐阜北方工場 竣工 | |

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

**開発からアフターサービスまで一貫して手掛ける**ことができる事業形態を活かし、
ダイレクトにお客様のニーズをとらえることで、より魅力的な商品・サービスをご提供可能。




Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

# 自社ブランド「PREMIUM WATER」を主軸とした、天然水及び浄水型ウォーターサーバー事業を展開。

ご契約

## 天然水

**日本各地の採水地**
全国８ヶ所（自社工場３ヶ所を含む）から天然水を採水

**定期配送**
２本１セットで配送
税込4,082円（2,041円/本）～

**ご家庭へお届け**
ご希望の配送日を指定してお届け
ペットボトル容器は家庭から資源ごみとしてリサイクル

## 浄水型

**ご家庭の水道水**
給水タンクをセットまたは直接給水で水道水を浄水

**定期的なフィルター交換**
定期配送によるカートリッジ交換
月額定額料金（税込2,380円～）に含まれるため基本的に追加購入不要

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

# 顧客の増加により確実に収益増加が見込める、安定性の高いビジネスモデル。

## 事　業　内　容

### 天然水（宅配水）ウォーターサーバー

天然水の定期配送による安定した収益

### 浄水型ウォーターサーバー

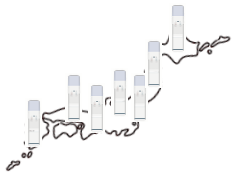
月額定額制(※) による安定した収益

※サーバーレンタル料＋浄水カートリッジ料＋配送料

×

### 契約件数の増加

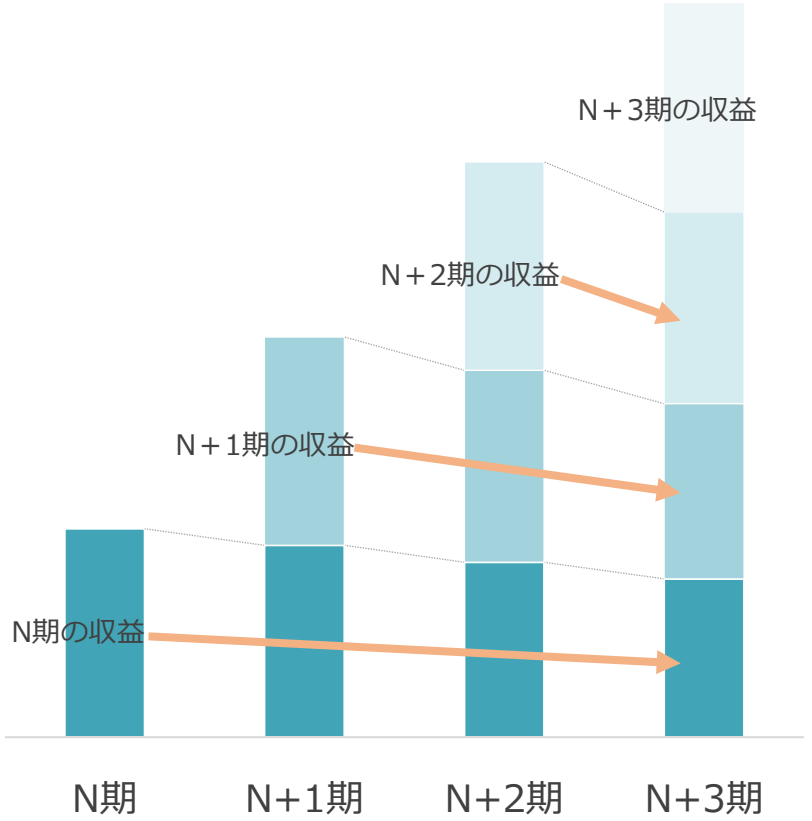






顧客１件あたりの
獲得コストが
一定水準であれば
収益が積み上がる

## ストック型ビジネスモデル




Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

# Appendix

## （２）SDGsへの取組み

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

## こども食堂へのお米寄付




貧困や孤食という問題を抱える子どもたちの食が少しでも豊かになることを目的に、貧困家庭や孤食の子どもに食事を提供する「子ども食堂」に自社工場がある富士吉田で収穫したお米を寄贈しました。

## ウォーターエイドジャパンへの継続的な寄付



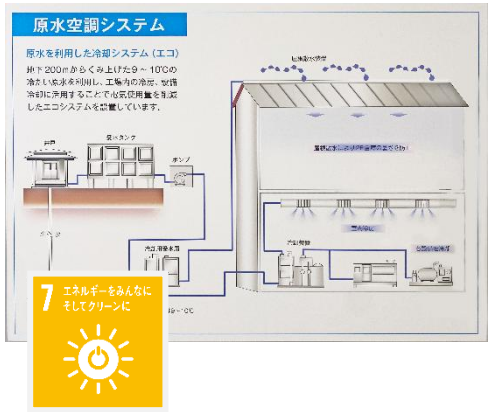

“SDGs特化型”の新たなウォーターサーバーブランド「PREMIUM WATER FUTURE」を立ちあげました。「PREMIUM WATER FUTURE」の売上の一部を愛すべき未来への想いを具現化する活動団体“ウォーターエイドジャパン”へ寄付することで、多くの人々が衛生的なお水を利用できるように支援しています。

## 災害時の支援・復興サポート




山梨県富士吉田市、兵庫県朝来市と「災害時における飲料水の供給に関する協定」を締結しており、災害発生時に被災者に飲料水の提供が必要となった場合、無償供給およびサーバーの無償貸与を行います。他にも、西日本豪雨による被災地支援品の寄贈、「平成28年 熊本地震」における義援金寄付、熊本復興支援イベントの開催等を行い、「令和６年 能登半島地震」及び「令和８年 熊本地震」においても、被災地支援を行っています。

## 地下水の利用




富士吉田工場では、地下水200mからくみ上げた９度～10度の冷たい原水を利用し、工場内の冷房・設備冷却に活用することで電気使用料を削減したエコシステムを設置しています。

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

## 安心安全のナチュラルミネラルウォーター




当社グループの製品（ナチュラルミネラルウォーター）は、一般の公的基準よりも厳しい自社基準を設け、1日に10数回に及ぶ自主的な検査（水の微生物検査、理化学検査、官能検査）と定期的な放射性物質の検査を実施しています。また、赤ちゃんのからだにもやさしい「軟水」を提供しています。

## PETボトルの軽量化




PETボトルの構造を変更し、2023年時点で20%軽量化（プラスチック使用量削減）を達成し、さらに2024年には３%の軽量化に成功しました。
従来より23%軽量化した新たなペットボトルに順次入れ替え、2025年3月末までに全水源の約80%切り替えを完了しています。

## 公平な人事制度・ジェンダー平等への取組み




人事考課での公平性を確保するために、人事ポリシー・考課制度を再整備しています。
また、産前産後休業や育児休業・育児休業給付、育休中の社会保険料免除のほか、制度の周知や情報提供を行っています。

## 森林整備活動（西桂地区）




地域の水資源育成に向け、水源涵養機能の高い森が、良い水資源を生み、豊かな食生活を生むという考えから、西桂工場のある山梨県の西桂地区において健全な森を作る間伐等の整備を行っています。

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

## 当社初の「統合報告書2026」を公開！

当社は、これまで発行していた「サスティナビリティレポート」を発展・統合し、グループの価値創造ストーリーや中長期的な取組みをまとめた、初の「統合報告書2026」を公開いたしました。

当社グループの企業価値向上への取組みを、より多くのステークホルダーの皆様にご理解いただくことを目的として、「統合報告書2026」を作成いたしました。本報告書では、「100年続く企業へ」を経営理念として掲げ、ウォーターサーバー事業を中心とした持続的な成長ストーリーを詳しくまとめております。当社グループの強みである営業力を活かしたビジネスモデルや財務情報、水源保全をはじめとする環境施策、人材育成やガバナンス体制といった非財務情報についても体系的にご紹介しております。




「統合報告書 2026」
https://premiumwater-hd.co.jp/sdgs/_assets/data/report/IntegratedReport2026.pdf

当社ウェブサイトのサステナビリティページ
https://premiumwater-hd.co.jp/sdgs/

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

# 免責事項

1. 掲載された情報についてご注意いただきたい点

　当資料を通じ、財務情報、経営指標等の情報の開示を行います。当社は、当資料を通じて情報開示を行うにあたり細心の注意を払っておりますが、当資料に掲載した情報について内容の正確性等を保証いたしません。当資料による情報開示は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終的な決定は、ご自身の判断でお願い致します。当社は、当資料に掲載された情報を利用したことにより生じたいかなる損害についても、一切責任を負いません。

2. 将来の見通しに関する事項について

　当資料に掲載されている情報には、業績予測等の将来の見通しに関する記述が含まれていますが、これらはリスクや不確実性を内包するものです。業績予測等の将来の見通しに関する記述は、その実現性を保証するものではなく、当社を取り巻く経営環境や市場動向の変化等により、実現しない可能性があることにご注意ください。

3. 当資料の運用について

　当資料は予告なく配布の中止や内容の変更を行うことがあります。当社は、当資料を利用できなかったことにより生じたいかなる損害についても、一切責任を負いません。

<お問い合わせ先>

株式会社プレミアムウォーターホールディングス　IR担当
お問い合わせ先：https://premiumwater-hd.co.jp/contact/

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.




PREMIUM WATER
HOLDINGS